

令和4年12月9日

令和4年第3回神奈川県議会定例会

総務政策常任委員会報告資料

政策局・総務局

目 次

ページ

- 1 「かながわグランドデザイン 第3期実施計画 点検報告書（素案）」について…… 1
- 2 「第2期 行政改革大綱 点検報告書（素案）」について…………… 4

参考資料1 かながわグランドデザイン第3期実施計画 点検報告書（素案）

参考資料2 かながわグランドデザイン第3期実施計画 点検報告書（素案）概要版

参考資料3 第2期 行政改革大綱 点検報告書（素案）

1 「かながわグランドデザイン 第3期実施計画 点検報告書（素案）」について

(1) 趣旨

令和元年7月に「かながわグランドデザイン 第3期実施計画」（以下「第3期実施計画」という。）を策定し、計画を推進してきたが、令和4年度は「第3期実施計画」の計画期間の最終年度となる。

政策のマネジメント・サイクルでは、計画の最終年度において、政策全般について点検を行うこととしている。

また、「かながわグランドデザイン 基本構想」（以下「基本構想」という。）についても、状況の変化に応じて総合的に点検を行うこととしている。

そこで、「基本構想」及び「第3期実施計画」の点検を行い、神奈川県総合計画審議会の審議を経て、その点検結果について、「かながわグランドデザイン 第3期実施計画 点検報告書（素案）」（以下「点検報告書（素案）」という。）としてとりまとめた。

(2) 経緯

- ・ 令和4年5月30日から6月3日に書面開催した神奈川県総合計画審議会で、『第3期実施計画』点検基本方針』について審議し、了承された。
- ・ 令和4年11月14日開催の神奈川県総合計画審議会で、「点検報告書（素案）」について審議し、了承された。

(3) 「点検報告書（素案）」の概要

ア 「基本構想」の点検

神奈川が人口減少局面に入ったこと、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により生活困窮や社会的孤立など社会に潜在していた課題が急速に顕在化したこと、また、社会のデジタル化が加速したこと、脱炭素社会に向けた動きが国内外で活発化していることなど、「基本構想」策定以降の社会環境の変化について整理した。その上で、「基本構想」に示した「基本目標」や「政策の基本方向」について検証を行った。

イ 「第3期実施計画」の点検

(ア) プロジェクトの点検

23のプロジェクトごとに、次のとおり点検を行った。

- ・ 「総合分析」として、プロジェクトのねらいに向けた取組みの全体像を整理した。
- ・ 「指標の動向」「K P Iの達成状況」として、計画期間4年分の状況を示すとともに、その要因を分析した。また、4年間の「主な取組みと成果」を明らかにした。
- ・ 「プロジェクトをとりまく中長期的な課題や方向性」として、社会環境の変化などを踏まえ、今後検討していくべき課題や方向性を整理した。

(イ) 新型コロナウイルス感染症の影響の検証

コロナ禍の影響により、事業の中止や延期など大幅な事業見直しを余儀なくされる中、創意工夫により代替策を講じてきた取組みを整理するとともに、これまでの取組みがコロナ禍で開花し、より一層の効果を発揮した実績を整理した。

(ウ) SDGsの理念を生かした社会的課題への対応状況の検証

県民、NPO、企業、大学、行政等の多様な主体とSDGsの理念を共有し、連携して社会的課題の解決に取り組んだ状況を整理した。

(4) 公表等

「点検報告書（素案）」は、県のホームページで公表するとともに、県政情報センターや地域県政情報コーナーで閲覧できるようにする。

また、「点検報告書（素案）」の概要版を作成し、県民意見募集等に活用する。

(5) 今後の予定

令和4年12月中旬

～5年1月中旬

令和5年2月

3月

「点検報告書（素案）」について県民意見募集等を実施
「点検報告書（案）」のとりまとめ
神奈川県総合計画審議会での審議
第1回県議会定例会に報告
「点検報告書」公表

<別添参考資料>

- ・参考資料1 かながわグランドデザイン第3期実施計画 点検報告書 (素案)
- ・参考資料2 かながわグランドデザイン第3期実施計画 点検報告書 (素案)
概要版

2 「第2期 行政改革大綱 点検報告書（素案）」について

(1) 趣旨

本県は、平成27年7月に「行政改革大綱」（以下「前大綱」という。）を策定し、職員・組織・仕事の質を向上させ、行政組織の総合力を高める質的向上に着目した改革を推進してきた。

令和元年7月に策定した「第2期 行政改革大綱」（以下「大綱」という。）においても、新たな課題や県民ニーズに対しては、スピード感を持って的確に対応し、質の高い行政サービスを持続的に提供していくため、前大綱の理念を継続し、質的向上に着目した改革を推進してきた。

令和4年度は、大綱の計画期間の最終年度となっていることから、大綱に示した取組をはじめ、新型コロナウイルス感染症の影響、新たな課題の抽出、行政改革の方向性の整理など総合的な点検を行い、4年間で総括する点検報告書として作成する。

(2) 点検報告書素案の概要

ア 構成

(ア) 「第2期 行政改革大綱」とは

(イ) 点検報告書の作成にあたって

(ウ) 大綱に位置づけた取組の着実な実施

(エ) 各取組分野の点検

- ・ 取組分野1 働き方改革
- ・ 取組分野2 組織・人事改革
- ・ 取組分野3 財政改革
- ・ 取組分野4 ICT利活用改革
- ・ 取組分野5 情報発信改革

(オ) 各アクションプランの点検

- ・ 働き方改革取組方針
- ・ 第2期 組織・人事改革戦略
- ・ 第2期 神奈川県職員健康経営計画＜県庁CHO計画＞
- ・ 神奈川県公共施設等総合管理計画
- ・ かながわICT・データ利活用推進計画
- ・ 神奈川県広報戦略

(カ) 成果と課題

(キ) 総括

イ 成果と課題

(7) 主な成果

5つの取組分野と6つのアクションプランを着実に推進し、主に、次のような成果を得ることができた。

a 取組分野1 働き方改革

- ・ 「業務改善が積極的に行われるようになった」と感じている職員の割合
令和元年度22.6%→令和4年度55.7%（+33.1ポイント）
- ・ 業務改善提案制度「集中提案シーズン」の提案件数
300件（令和4年9月～10月実施）

b 取組分野2 組織・人事改革

- ・ 柔軟な配置換えや年度途中での人事異動等により、新型コロナウイルス感染症等喫緊の課題に対応

c 取組分野3 財政改革

- ・ 臨時財政対策債発行可能額
平成30年度1,228億円→令和4年度901億円（△327億円）
- ・ 県税徴収率
平成30年度末98.7%→令和3年度末99.0%（+0.3%）
- ・ 「セレクト神奈川NEXT」等により、県外・国外からの企業誘致や県内企業の再投資を促進

d 取組分野4 ICT利活用改革（令和4年9月末時点）

- ・ RPA導入件数：46件
- ・ モバイルPCの導入：13,323台（職員への導入完了）
- ・ ビッグデータなど多様なデータを集約し活用するデータ統合連携基盤を新型コロナウイルス感染症対策（新型コロナウイルス感染予測シミュレータ等）に導入

e 取組分野5 情報発信改革

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策等の情報について、複数の広報媒体を活用し、正確かつ速やかに情報発信

(1) 主な課題

a 4年間の課題

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策関連業務等の緊急的な業務の発生により時間外勤務は依然として高い水準で推移しており、長時間労働の是正に向けた基本取組の徹底や更なる業務改善の推進が必要

- ・ 職員の意識調査（令和4年度）において、テレワークを週1回以上実施している職員は、目標70%以上に対して、19.4%であり、テレワークの阻害要因の解消等に取り組んでいくことが必要

b 新たな要素

- ・ W i t h コロナを見据えた対応
- ・ D Xの推進

c 中長期を見据えた課題

人口減少や超高齢化により、県税収入が減少する可能性や社会保障費の増大などの課題が想定されるため、国において、地方行政体制のあり方が検討されている。その動向も踏まえ、県行政のあり方を検討していく必要がある。

ウ 総括

業務改善の推進に関する職員の意識の向上やICTを活用した庁内業務の効率化など一定の成果が得られた。

一方、職員の時間外勤務が高い水準で推移し、全体の業務時間・量の削減までは至っていないため、長時間労働の是正に向けた基本取組の徹底や更なる業務改善の推進が必要である。

また、「W i t h コロナを見据えた対応」、「D Xの推進」など新たな課題に取り組むとともに、国における地方行政体制のあり方の検討動向も踏まえ、県行政のあり方を検討していく必要がある。

今後とも、不断の行政改革に取り組み、行政組織の総合力を高め、質の高い県民サービスを効果的かつ効率的に提供していく。

(3) 今後の予定

令和4年12月中旬

～5年1月中旬 県民意見募集の実施

令和5年2月 第1回県議会定例会に「第2期行政改革大綱 点検報告書（案）」を報告

3月 「第2期行政改革大綱 点検報告書」公表

<別添参考資料>

- ・ 参考資料3 第2期 行政改革大綱 点検報告書(素案)